

報道関係者 各位

令和5年8月10日

 協会けんぽ
 データで
 多角的に分析

今、全国で約17,000社が取得する 「健康経営優良法人」の関心度は？

～ その5：健康経営優良法人の関心と取組状況 ～

健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

- 協会けんぽ広島支部では、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取組みを戦略的に実践する「**健康経営**」を推進しています。
- 健康経営の取組課題として、心の健康を崩すことが原因で長期欠勤や労働生産性の低下を招くことも多く、「**メンタルヘルス対策**」は企業にとって重要課題になっています。
- 今回、メンタルヘルスの状況について、広島支部加入者の健診データ・レセプトデータ・傷病手当金受給データ及び事業所アンケートを活用し、多角的に分析しました。その得られた内容について、複数回に分けて、情報提供をします。

《事業所実態調査の結果概要》

●事業所アンケートにおいて、健康経営優良法人の関心と取組状況について回答いただき、4段階で評価しました。

●「健康課題の把握と対策」「健康経営の取組状況」の点数について、健康経営優良法人を「既に取得している／準備を進めている事業所」は良好な事業所が多い。

同様に「健康経営優良法人に関心があるが取組みは行っていない事業所」は「初めて知った／取得するつもりはない事業所」と比較すると、取組状況に良好な判定結果が多い。

●いずれの人数規模でも、「関心はあるが取り組めていない事業所」が30～40%程度存在しましたが、取り組まない理由としては、「人員や時間が足りない」「何に取り組めばいいのかわからない」と回答した割合が高く、関心はあるものの取り組めていない状況が推察されます。

 協会けんぽ 広島支部
 マスコットキャラクター
 健康 いろは

 協会けんぽ 広島支部
 マスコットキャラクター
 健康 かえで


- 本業務はニッセイ情報テクノロジー株式会社、株式会社こどもみらい・東京医科大学精神 医学分野 睡眠健康研究ユニット・産業精神医学支援プロジェクト 志村 哲祥 兼任准教授と協働実施しました。


 今回の分析の詳細については、**広島支部ホームページ**に掲載しています

【協会けんぽについて】

中小企業等（約256万社）で働く従業員やそのご家族（約3,944万人）が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・ 加入事業所数（広島支部）： 58,546事業所（令和5年3月時点）
- ・ 加入者数（同上）： 1,044,575人（令和5年3月時点）

<本件に関するお問い合わせ>

全国健康保険協会広島支部
 企画総務グループ
 担当：尾田・柏矢
 TEL082-568-1014

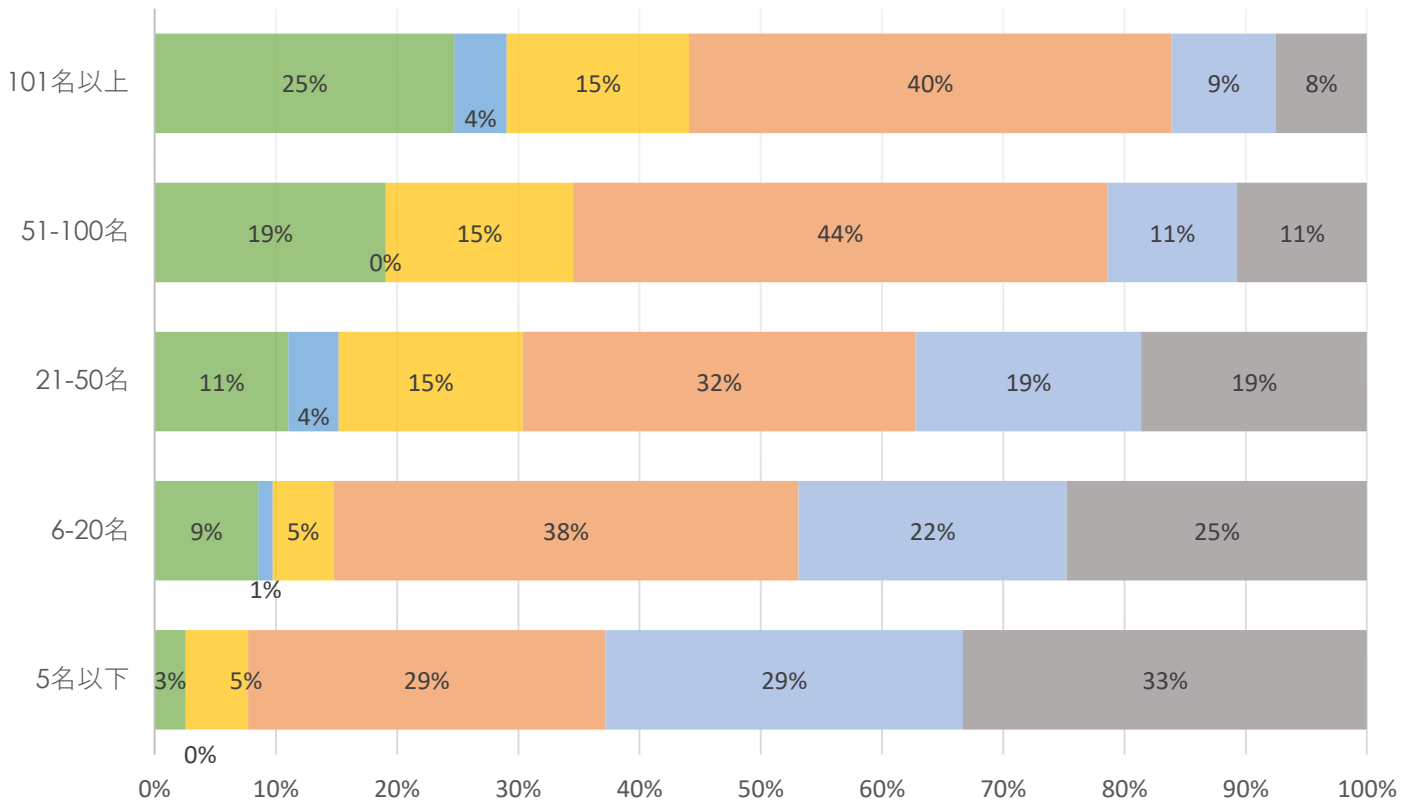
健康経営優良法人への取組状況について

「健康経営優良法人」への取組状況については、図のとおり、人数規模が大きい事業所ほど、優良法人の認知度および関心が高い傾向が見られました。

取得意思のない事業所は比較的少数派でしたが、いずれの人数規模でも、「関心はあるが取り組めていない事業所」が30~40%程度存在していました。

協会けんぽ広島支部としてもこの結果を受け止め、事業所の皆さまが健康経営および優良法人の認定取得に取り組みやすくなるよう、支援策を充実させて参ります。

「健康経営優良法人」への取組状況



■すでに取得している

■以前に取得したことはあるが、今は取得していない

■来年度以降の取得に向けて準備を進めている

■関心はあるが、特に取り組みは行っていない

■取得するつもりはない

■「健康経営優良法人」について初めて知った

■ 事業所向けアンケート調査項目の評価について

事業所における取組状況（S/A/B/C）を4段階で評価しました

【働きやすい環境づくり】

1. 有給休暇の取得しやすさ
2. 育児・介護と仕事の両立を支援する制度
3. 治療と仕事の両立を支援する制度
4. 従業員自身のキャリアに向き合う機会
5. 働きやすい環境づくりの具体的な取り組み（複数選択）

No.1～5の設問の合計点に応じて下記4通りに判定

20点以上=S 13点以上20点未満=A 8点以上13点未満=B 0点以上8点未満=C

【作業環境】

6. 従業員一人あたりの執務・作業スペース
7. 業務を行う場所の、温度・湿度や換気状況等
8. 通路や棚の備品類の整備・管理状況

No.6～8の設問の合計点に応じて下記4通りに判定

12点=S 10点以上11点以下=A 6点以上9点以下=B 5点以下=C

【健康課題の把握と対策】

9. 健康診断の受診率・有所見者への二次検査や医療機関受診の勧奨
10. 産業医との契約有無・産業医の稼働頻度(巡視・衛生委員会参加等)
11. ストレスチェックの実施有無・実施している場合の回答率・高ストレス者に対する、医師面接指導の実施率

No.9～11の設問の合計点に応じて下記4通りに判定

16点以下=S 10点以上15点以下=A 4点以上9点以下=B 3点以下=C

【健康経営への取組み状況】

12. 経営層の関わり・支援の有無(社内に向けての宣言、予算の確保など)・健康経営推進に携わる人員の確保・健康経営を推進するため、具体的な計画の策定
13. メンタルヘルス対策として、不調者に対するサポート
14. 従業員が心身のセルフケアについて学ぶための、研修や情報提供の機会
15. 管理職としての業務を遂行するためのスキルを学ぶ研修等の機会(ラインケア、安全配慮義務、ハラスメント防止など)
16. 従業員の心身の健康づくりのための具体的な取り組み（複数選択可）

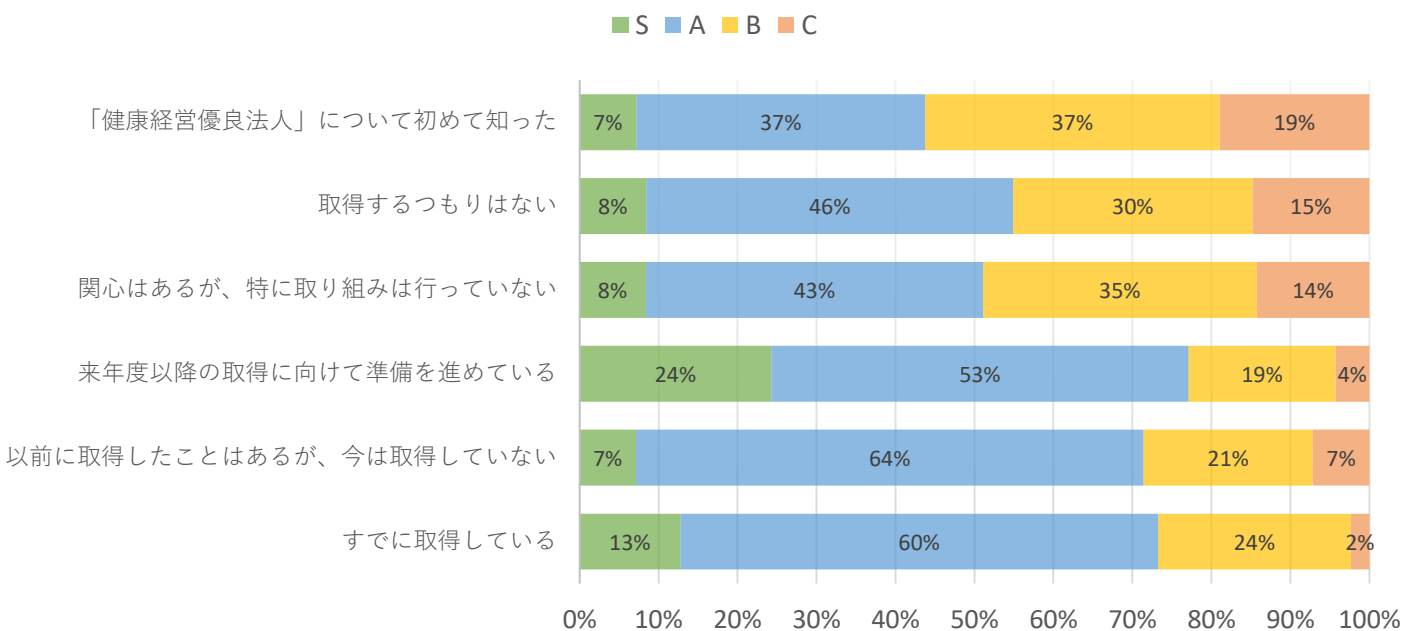
No.12～16の設問の合計点に応じて下記4通りに判定

35点以下=S 20点以上34点以下=A 5点以上19点以下=B 4点以下=C

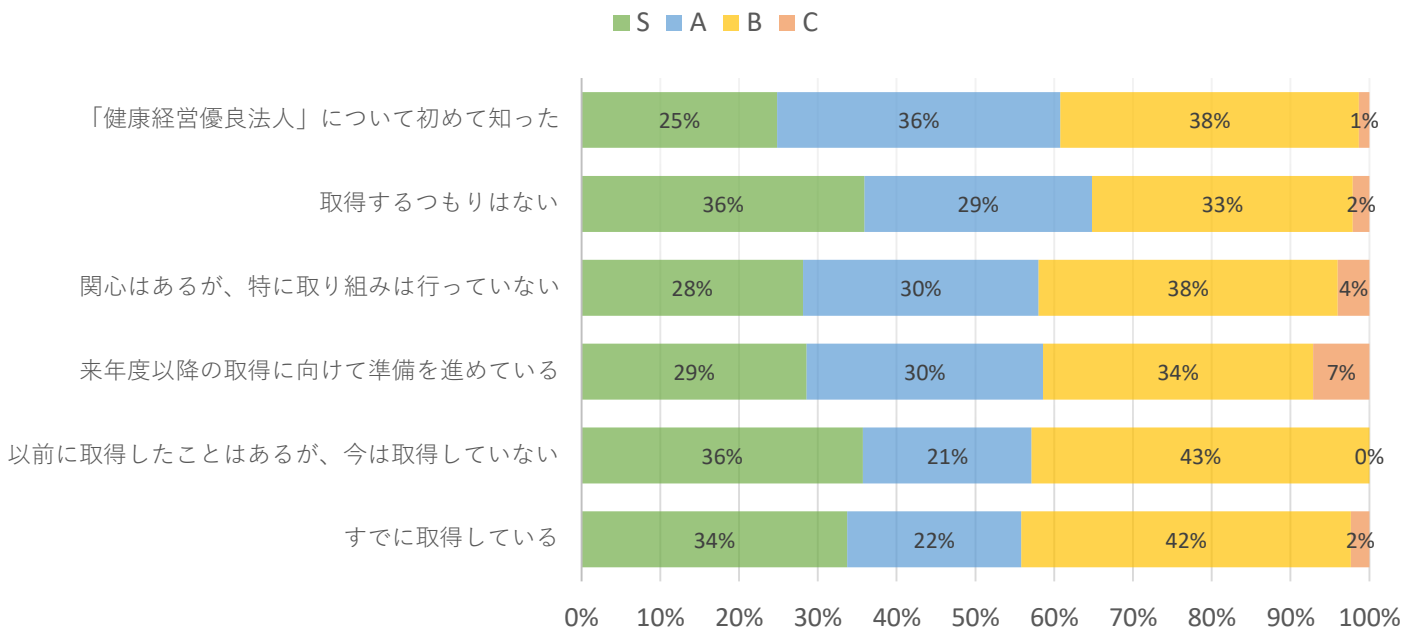
健康経営優良法人への取組状況と項目ごとの判定結果（1）

- 「働きやすい環境づくり」については、既に取得している／以前に取得していた／準備を進めていると回答した事業所において、それ以外の事業所と比較して良好な判定結果の割合が高く、従業員の働きやすさに配慮している状況が伺えます。
- 一方で作業環境については、優良法人の認定要件にあまり影響しない項目が中心であることもあってか、優良法人への取組み状況との関連はあまり見られませんでした。

優良法人の取組状況と「働きやすい環境づくり」判定結果



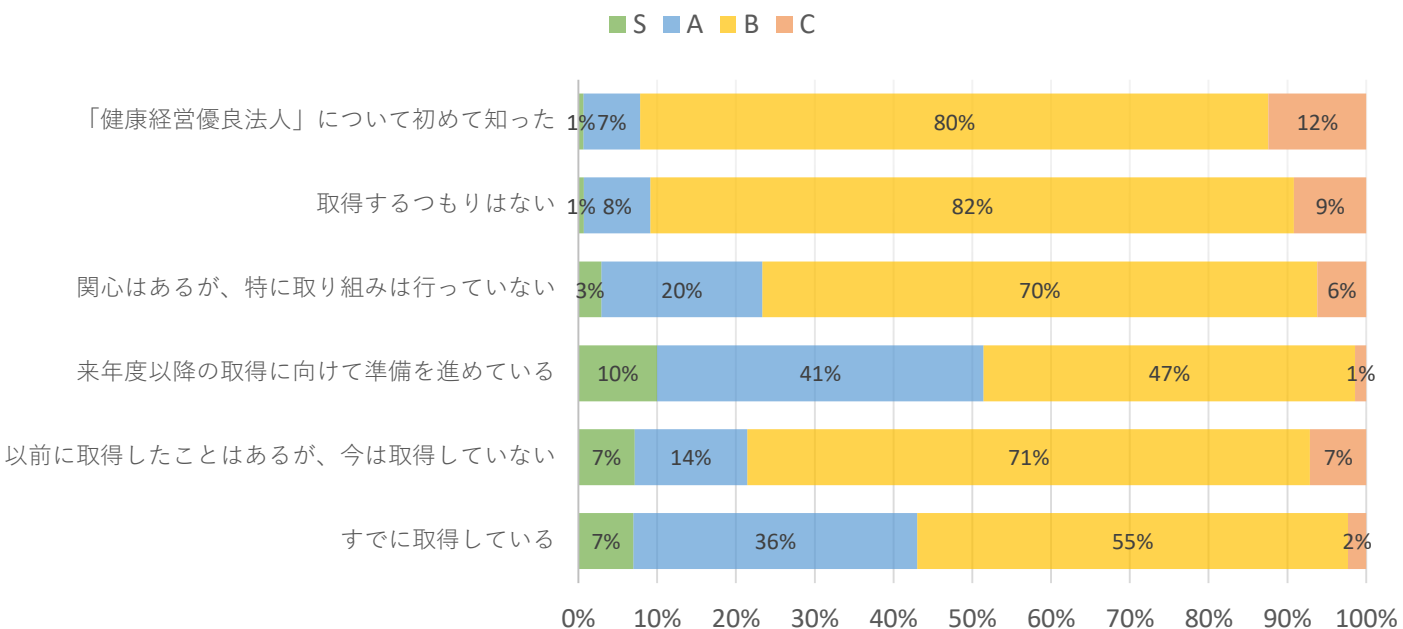
優良法人の取組状況と「作業環境」判定結果



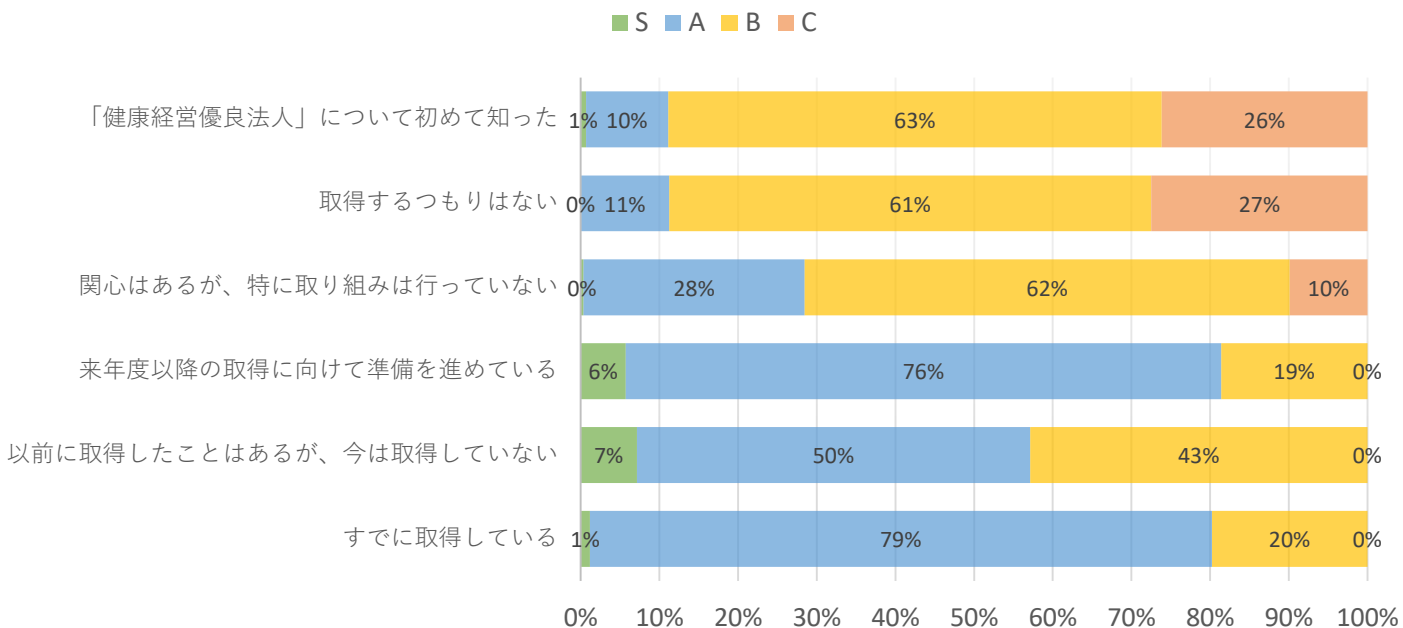
健康経営優良法人への取組状況と、項目ごとの判定結果（2）

- 「健康課題の把握と対策」「健康経営の取組状況」のいずれも、「既に取得している／準備を進めている」事業所では良好な判定結果が多い結果となりました。また、「関心はあるが、特に取り組みは行っていない」と回答した事業所であっても、「初めて知った／取得するつもりはない」事業所と比較すると良好な判定結果の事業所が多く、事業所の関心の有無が各種施策に影響している様子が見えます。
- 「今は取得していない」と回答した事業所は、関心の低い事業所よりは良好な傾向にはあるが、現在進行系で取り組んでいる事業所と比べるとやや低めの判定結果の割合が高くなりました。

優良法人の取組状況と「健康課題の把握と対策」判定結果



優良法人の取組状況と「健康経営の取組状況」判定結果



健康経営優良法人認定に取り組まない理由について

●健康経営優良法人認定に対して、取り組まない理由としては、「人員や時間が足りない」「何に取り組めばいいのかわからない」と回答した割合が高く、関心はあるものの取り組めていない状況が考察できます。

健康経営優良法人認定に取り組まない理由

